

# 論 説

あのガリバー船長は「巨人の国」や「小人の国」に加え「不死の国」も訪ねた。そのラグナグ王国には、額に赤い丸印を付けて生まれる人々がいた。若い頃は一般人と同じだが、次第に不死の運命に苦しむ。80歳で相続人へ全財産が渡され、商取引も契約も禁止され、わずかな生活費が与えられるだけになる。



## 宮武 剛

### 認知症基本法と新薬

# 当事者の願いを根底に

90歳になると、歯や髪が抜け落ち、味覚を失う。食欲がなくても、手に入るものは何でも口に入れ、親や親友の名前さえ忘れる。今年、認知症については「対策」名は忌避された。福協「ヘルパ！VOL.62」  
画期的な出来事があった。アルツハイマー病抑制の  
やと認知症基本法が成立 新薬「レカネマブ」の登場  
(6月)、次いでアルツハイマー病の進行を遅らせる 彼らの主体性を尊重し、活  
イマー病の進行を遅らせる 躍の場を広げていく。その  
新薬が承認された(9月)。 ために政府・自治体によ  
認知症基本法は超党派の 議連連盟で立法化され、教 者の絞り込み、副作用の検  
「不死」に憧れたガリバー 育、障害者、がん対策など 画」は本人や家族の意見聴 断などが重い宿題で残る。  
が「不老」ではない現実な 取を前提に策定される。 値段も1人年298万円  
落胆する姿を描いた。 既存40本の基本法に加わっ 39歳でアルツハイマー型 もかかる。「日本認知症本  
人ワーキンググループ」の  
藤田和子代表理事は複数の  
メディアに、こう答えてい  
た。

約300年前の創作は、 た。認知症の人が社会の一 と診断された丹野智文さん  
親の名前さえ思い出せない 員として尊重される「共生 はこう語っている。  
認知症状の多発や、食欲を 社会」の実現を目指す。 「できないと決めつけて、  
失つても経管栄養チューブ 小学生から認知症を学 できることを奪わないで  
で延命の現代の光景を先取 び、警察官、消防士らは研 しい。僕たちが求めている  
りしているではないか。 修を受け、交通機関すべて のは守られることではな  
るのか、と思つたら、悲し  
い薬になる」(要約)

みやたけ・ごう NPO法人福祉  
フォーラム・ジャパン副会長、学校  
法人・社会医学技術学院顧問

取り組みが始まる。 ても、自分で課題を乗り越 当事者の願いをかみしめ  
え、自分がやりたいことを することからすべては始まる  
やり続けたいのです」(社 のだろう。(本紙論説委員)